

- 宇美町では木材利用を通じて、町民が木と身近にふれあうことにより、森林整備に対する理解の醸成に取り組んだ。
- 令和元年度においては、以下の取組みによる木材利用の普及啓発活動を実施した。
  - ・ 公共施設各所の設備を木質化することで、普段木とふれあうことのない町民が、木とふれあえる場を設けた。
  - ・ 出生届を提出された方へ、子供が幼少期から木材への親しみを感じてもらえるように、木製スプーンを配布した。
- 令和2年度は、木製スプーン配布事業の継続等による普及啓発活動に加え、町内の森林整備推進を見据えた森林所有者情報整備事業を計画。

## □ 事業内容

### 1. 公共施設内設備の木質化事業

- ・ 公共施設内のベンチ、パンフレットラック、デスクマットの木質化を実施。
- ・ 町立保育園に木製靴箱を新設。
- ・ 利用者からは、「ひのきの良い香りがする」等の感想をいただいた。

【事業費】 1,697千円（うち譲与税1,689千円）

【実績】 木材使用料2.3㎡



（事業1：公共施設内設備の木質化事業）

### 2. 木製スプーンの配布

- ・ 出生届を提出された方に、町制施行100周年事業として、「100周年」と「百日祝い」をかけ、お食い初めで使用してもらえるよう、100周年記念ロゴを印字した木製スプーンを配布した。
- ・ 受け取った方から、「手触りが良い」「デザインも良く記念品として保管したい」等の感想をいただいた。

【事業費】 230千円（うち譲与税230千円）

【実績】 100個配布（R2年度事業で追加製作、配布継続中）



（事業2：木製スプーンの配布）

## □ 事業スキーム

### 2 木製スプーンの配布



## □ 工夫・留意した点

- ・ 単に木製スプーンを配布するだけでなく、町制施行100周年と連携することで、記念品としての希少価値を出した。
- ・ 塗料等を使用せず木の加工のみとすることで、手触りが良く幼児の口に合うデザインとした。

## □ 基礎データ

①令和元年度譲与額	1,919千円
②私有林人工林面積（※1）	430.66ha
③林野率（※2）	60.8%
④人口（※3）	37,927人
⑤林業就業者数（※4）	0人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より